

水産物の市況について(令和4年10月及び令和4年11月)

—東京都中央卸売市場における令和4年10月(令和4年9月21日～令和4年10月20日集計)の市況と、
令和4年11月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和4年10月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月からやや増加で推移し、前年同月比では減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月から横ばいで推移し、前年同月比ではかなり強含みで推移しました。

II 令和4年11月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

東京への入荷量は減少し、卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量は銀さけ主体に横ばい、卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

東京への入荷量はやや増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

東京への生鮮品の入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。
東京への冷凍物の入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は横ばい、卸売価格は冷めばち・冷きはだ主体に高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

東京への入荷量は減少し、卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

東京への入荷量はやや増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	10月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
4年	26	1,458	25	1,433	26	1,358
前年	30	1,153	28	1,093	26	1,155

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2: 入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	10月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	672	116	144	194
さけ類(平均)	1,417	106	150	149
(ぎんざけ塩蔵品)	1,347	109	145	143
(あきさけ塩蔵品)	1,011	101	110	111
(べにざけ塩蔵品)	1,507	110	106	113
(さけ類冷凍品)	1,470	107	158	160
さば(生鮮品)	472	82	90	87
するめいか(平均)	1,019	105	114	121
(生鮮品)	1,082	111	120	126
(冷凍品)	929	100	108	120
あじ(生鮮品)	506	65	93	83
まぐろ(冷凍品)	2,050	101	124	132
(めばち冷凍品)	1,472	102	114	126
(きはだ冷凍品)	1,451	102	133	153
(くろまぐろ冷凍品)	3,957	99	128	124
(みなみまぐろ冷凍品)	2,763	102	141	143
かつお(生鮮品)	1,161	127	209	168
さんま(生鮮品)	1,088	96	94	160

注1: 品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2: 10月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成29年～令和3年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先: 水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 賛田、西村

直通 03-3591-5613